

南保護区保護司会だより

ひまわり

第10号

令和7年6月26日発行

2024年11月17日
南区民まつり(道德公園)にて
更生ペンギン ホゴちゃん

CONTENTS

- | | |
|------------------------------|------------------------------------|
| 2 あいさつ
愛知県更生保護大会 | 6 研修部会 犯罪予防部会
名古屋南地区 BBS 会 |
| 3 社会を明るくする運動南区推進大会
南区民まつり | 7 退任にあたって 保護司になって
更生保護女性会 ひとやすみ |
| 4 南保護区保護司会 | 受彰者紹介 |
| 5 ~ 沿革と活動の紹介 ~ | 8 桜学区の紹介
退任保護司紹介 新任保護司紹介 |



南区イメージキャラクター
「Mioo (ミオー)」



保護司会ホームページ



ごあいさつ

名古屋保護観察所長 調子康弘

南保護区保護司会の皆様におかれましては、日頃から更生保護の活動に御尽力いただき、感謝申し上げます。

昨年は大津の事件があり、面接場面での安心を目指し「複数担当の推進」と「自宅以外の面接場所の確保」を中心に取り組みました。昨年度の保護観察の複数担当は前年度の3～4倍となりました。今年も引き続き取り組んでまいります。

また、本年度の社明運動は第75回です。これを機に名古屋グランパスエイト様の御協力を得て、同チームの選手に参加いただく短い動画を作成します。幅広い愛知県民の方々に更生保護に関心を持っていただくことを目指します。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



南区更生保護サポートセンター

ひまわり

南保護区保護司会長 藤井一夫

南区更生保護サポートセンターひまわりが平成30年8月24日南区役所1階にオープンして7年目になります。

更生保護サポートセンターの開設により対象者との面接場所としての利用はもちろん、保護司間の情報交換、新任保護司とベテラン保護司との意見交換など交流の機会が今まで以上に増えました。

また各部会、更生保護女性会、他団体との打合せを通じて保護司会活動の活性化が図られ更生保護の拠点としての役割を果たしており、サポートセンターは行政機関と一体となり安全で安心できる南区づくりの一翼を担っているように感じています。

これからも関係機関、団体や保護司協会の皆様のお力添えをいただきながら更生保護活動の推進に努めてまいります。



安心・安全で快適な まちの実現

南区長 作田宏幸

南保護区保護司会の皆様には、日頃から更生保護活動や地域におけるパトロールなどの犯罪予防活動にご尽力、ご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。

南区では、区の将来ビジョンである「ひまわりビジョン2028」をもとに、住みたい・住み続けたいと実感できる魅力あるまちとなるよう、「こころのかよう、あたたかいまち南区」をめざして取り組みを進めています。

その一環として掲げている「安心・安全で快適なまち」の施策推進には保護司会の皆様のお力が必要不可欠なものと思っています。

今後も保護司会の皆様と連携を図ってまいりたいと考えておりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



保護司の皆様へ

南警察署長 後藤和也

南保護区保護司会の皆様には、平素から、崇高なボランティア精神のもと、更生保護活動や青少年の非行防止活動に献身的に取り組まれ、心から敬意と感謝申し上げます。

昨年度も、警察との合同夜間パトロールや薬物乱用防止の啓発活動を行っていただくなど、本来の立ち直り支援活動の他、犯罪の未然防止にもご尽力をいただきました。

南警察と致しましても、南区の皆様の安全安心の確保のためには、犯罪の抑止、検挙だけではなく、立ち直り支援や非行を生まない地域づくりという側面も大変重要な取り組みと考えています。

今後もより一層の連携とご協力をお願いします。

愛知県更生保護大会

岡谷鋼機名古屋公会堂

令和六年度

令和6年11月15日（金）午後0時40分から愛知県更生保護大会が岡谷鋼機名古屋公会堂において、更生保護関係者約950名が一堂に会し式典を挙行し功労者の顕彰が行われました。

名古屋保護観察所長の挨拶に続き、令和6年、法務大臣表彰を受彰した宮川委久代さん（伝馬学区）が壇上で紹介されました。



宮川委久代さん（右から6人目）



前列左から宮川委久代さん、保護司会長、観察所長

南保護区保護司会からは石田牧子さん（明治学区）、石川来民造さん（笠寺学区）、山盛和美さん（柴田学区）、山田好恵さん（道德学区）が全国保護司連盟理事長表彰を、山田宏さん（明治学区）、横井良典さん（春日野学区）、鏡味道子さん（笠寺学区）が中部地方更生保護委員会委員長表彰を受彰されました。

社会を明るくする運動

南区推進大会

令和6年6月28日第74回社会を明るくする運動南区推進大会が開催されました。総理大臣メッセージが菅原名古屋保護観察所社会復帰対策官から小杉南区長へ伝達された後、推進委員長（南区長）あいさつ、名古屋保護観察所長、南警察署長挨拶に続き第73回「社会を明るくする運動」作文コンテスト南区優秀作品に選ばれた大江中学校3年川村さんと明治小学校6年坂野さんの朗読、大会宣言が採択されました。

区役所玄関ロビーにおいてミオー、ホゴちゃんも参加して来所された皆さんに啓発用ひまわりの種、絆創膏を配りました。



南区役所玄関ロビーにて

南区民まつり

令和6年11月17日道德公園一帯で区民まつりが開催されました。保護司会ブースでは保護司会の紹介と薬物乱用防止をテーマに開催しました。

薬物の恐ろしさと弊害を紹介したパネルを使用したクイズと子供さん達を対象にした「ホゴちゃん」お絵かきコーナーには大勢の参加をいただき、お土産に色鉛筆、ホゴちゃんの瓦せんべい、クリアファイルをプレゼントしました。毎回好評のみかんの目方当てコーナーには子供から高齢者まで幅広い参加を頂き大盛況の内に終わりました。

子供達は「ホゴちゃん」と握手



南区民まつり（道德公園）

したり一緒に写真を撮ったり楽しんでいました。

南保護区保護司会

沿革と活動の紹介

1 沿革

本会の事務所は、当初南警察署内に置かれていましたが、昭和34（1959）年からは南区役所区民室、平成3（1991）年4月から地域振興課、平成17（2005）年4月にまちづくり推進室、平成28（2016）年4月に地域力推進室、平成30（2018）年4月から総務課に置かれています。

当保護区は、中央部を南北に走る国道1号線を境に、東部は笠寺台地に早くから人が住み尾張四観音の1つ笠寺観音や見晴台遺跡など歴史的に由緒ある処も少なくない。西部は、その昔、年魚市潟（あゆちがた）と呼ばれた干潟地で製塩が盛んで、新田が開発された。現在はガイシホール（名古屋市総合体育館）や大規模商業施設が立地しています。南部は鉄鋼、機械、金属、化学などの工場が集積し市内有数の工業地帯として発展しています。

昭和29（1954）年6月10日に



南区更生保護サポートセンター開所式

設立した保護司助成会は、平成27（2015）年に名称を保護司協力会に改め、毎年7月に会員を募集しています。会員数は高齢化に伴ない当初985名から現在347名に減少しています。協力会役員は保護司会理事が兼務しています。毎年、保護司会総会は5月に、

保護司協力会総会は6月に保護観察所長、南区長、南警察署長を来賓に迎え開催しています。平成28（2016）年から南区社会を明るくする運動推進大会を開催しています。

昭和58（1983）年に法務省から「犯罪予防活動モデル地区」に指定され、特に大磯学区では地域総ぐるみで多彩な行事を繰り広げ、大きな成果を上げた。これを記念し昭和59（1984）年10月に篤志家から呼続公園噴水前に少女像のモニュメントが寄贈され、その除幕式が来賓多数を迎え執り行われました。

昭和60（1985）年から保護司の職務遂行のため、小学校区部会を年2回以上、中学校区部会を年1回以上実施し、知識能力の向上と保護司組織の機能充実を図っています。

令和7（2025）年4月現在、本会は、総務部会、広報情報部会、研修部会、育成指導部会及び犯罪予防部会の5部会からなっています。

平成30（2018）年8月24日南区役所1階に更生保護活動の拠点となる「南区更生保護サポートセン

ターひまわり」を開所しました。開所式及び記念セレモニーは区役所において名古屋保護観察所長、南区長、南警察署長など来賓多数をお迎えし執り行いました。サポートセンターには現在、企画調整保護司21名が交代で常駐しています。保護観察対象者との面接の場として、保護司の処遇会議、情報交換、保護司会の運営会議の場として活用しています。

2 活動

保護司が職務を完全に遂行するため、昭和62（1987）年4月から地域別定例研修会を年3回開催



し、平成19（2007）年から自主研修会を東部、西部地区で実施しています。

保護司の識見向上を図るため愛知県更生保護大会、中部地方保護司代表者協議会、研修担当保護司研修会等、各種研修会に積極的に参加しています。

・社会を明るくする運動は、



瀬戸少年院 視察

各学区や中学校区単位で、駅前やスーパー前等で幟旗を立て、ティッシュ、印刷物を配布し啓発活動を行っています。

平成29（2017）年から南区長を委員長として、南区社会を明るく

する運動推進大会を開催し、社明運動作文コンテスト南区優秀作品の生徒、児童による朗読、大会宣言の採択、主催者及び来賓による

懸垂幕の掲揚や区役所来庁者や通行人の方にチラシ、ティッシュなどを配布し啓発に努めています。

平成9（1997）年に始まった対象者の社会参加活動は、平成29（2017）年から社会貢献活動として大江川緑地公園で実施しています。

平成2（1990）年10月、サンテラス新瑞前で始まった「麻薬・覚せい剤乱用防止運動」は、令和6（2024）年10月に西部はアピタ名古屋南店前、東部はMEGADドン・キホーテUNYアラタマ店、イオンモール新瑞橋前歩道で行なっています。

保護司の識見を高めるため、毎年、更生保護施設や矯正施設への視察研修を実施しています。平成28（2016）年から更生保護女性会と合同で行なっています。令和6年は瀬戸少年院、令和5年は名古屋拘置所を30名が視察したほか、

この10年間に岐阜県更生保護施設光風荘、豊ヶ岡学園、岡崎自啓会、名古屋刑務所、三重県更生保護施設

設上弁財荘、豊橋刑務支所、更生保護施設立正園、愛知少年院を訪れました。



平成26（2014）年から南保護区保護司会だより「ひまわり」を発行し、更生保護関係者や各学区区政協力委員をはじめ広く区民に配布し保護司会活動の広報に努めています。

平成27（2015）年から南区民まつり会場に保護司会ブースを設け更生保護女性会員、BBS会員の協力を得て薬物乱用防止クイズ、ホゴちゃんお絵かきコーナーや南警察署の薬物乱用防止キャラクター展示により保護司会活動の紹介や薬物乱用防止活動を展開しています。

3 関係機関・団体との連携

本会の総会、理事会、各種研修会等は、南区役所の格別な理解と

協力をいただき円滑に行われています。

更生保護女性会、協力雇用主、名古屋南区地区BBS会とは担当保護司が中心となり連携充実に努めています。

保護司会では南警察署や少年補導委員会と協力し、毎年2月2日の笠寺観音節分前夜祭巡視活動や毎年10月に薬物乱用防止街頭キャンペーンを展開し犯罪予防に努めています。

小中学校とは、社会を明るくする運動や、麻薬・覚せい剤乱用防止運動を通して作文コンテストへの応募、ポスター掲示、リー



フレット等の配布により連携強化を図っています。

平成3（1991）年から各学区区政協力委員の協力を得て社会を明るくする運動のチラシを町内会へ組回覧しています。

研修部会について

部会長 渡邊 賢次

研修部会は保護司の実務上、必要な知識や全般的な技術水準向上を図る地域別定例研修会を3回行いました。

第1回は「保護司会と協力組織との連携のあり方」第2回は「各種報告書の作成について」第3回は「息の



永保寺にて

長い支援が必要な事案の処遇について」を保護観察官から実例を交えて

の研修を受けました。

自主研修会は令和6年10月29日に、パネルディスカッション形式で開催し経験豊富な保護司の事例発表の後、保護司同士で情報や意見交換をして活動の資質向上に努めました。

視察研修会は令和6年11月28日に実施し、午前は紅葉鮮やかな虎渓山永保寺をボランティアガイドの案内で厳かなたたずまいの国宝

開山堂をはじめとする山堂や国宝観音堂を始めとする伽藍が配置された境内を散策し癒しの世界に浸ることができました。

午後は昭和9年、我が国で3番目に設立された長い伝統を誇る瀬戸少年院を視察しました。

在院者個々の特性に応じた矯正教育を5つの指導領域（生活・問題行動・職業・教科・体育）を主に健全育成に処する処遇を行っているとのことでした。尚、視察当日の在院者は78名とのことでした（定員は160名）。

今回、矯正の現場を直接見たり聞いたりしたことは、今後の我々の活動に大変参考になったと共に、充実した視察研修会でありました。

犯罪予防部会について

部会長 山盛 和美

麻薬覚醒剤乱用防止キャンペーン

令和6年10月10日に麻薬覚醒剤乱用防止運動街頭キャンペーンをアピタ名古屋南店とドン・キホーテUNYアラタマ店、イオンモール新瑞橋前歩道で行いました。当日は各学区の保護司、少年



補導委員及び南警察署も参加してリーフレット、絆創膏、ティッシュを声をかけながら配布しました。

節分前夜祭パトロール

令和7年2月1日午後6時、南区の保護司と少年補導委員約70名が笠寺交番前に集合し、笠寺観音節分前夜祭で賑わう境内やその周辺を4コースに分かれ巡視活動を行いました。



家族連れ、お年寄りや若い人など例年より人の出が多いうように感じられました。

沿道や境内には屋台が多数出ており、境内の提灯の明かりが節分前夜祭にふさわしい雰囲気を出していました。「皆さんの巡視パトロールが非行や犯罪の防止につながります」との南署員のあいさつが印象に残りました。

名古屋南地区BBS会の紹介

事務局長 小川 史貴

私たち名古屋南地区BBS会は現在会員数が10名（社会人7名、学生3名）で活動しています。会員は名古屋市在住者だけでなく愛知県全域から集まっています。

2024年度は、8月にグループワークを開催しました。調理室を借りて、自立援助ホームの少年と一緒に焼きそば、たこ焼きなどの料理をして食べて、ルールが簡単でみんなで楽しめるボードゲームを行いました。



また、更生保護施設が開催する地域の清掃活動に参加しました。愛

知県BBS連盟の交流会、中部地方BBS連盟が主催する研修にも参加して他地区、他県の会員との交流や研さん活動にも力を入れています。

今後も少年と会員が一緒になって楽しい居場所を作ることを目指して活動したいと思っています。

退任にあたって

横井良典



保護司退任に当たってある日突然、学区の先輩から保護司をやってくれないか、と書類持参で依頼されたのが私の保護司の始まりです。

着任1週間で面談が入りました。進め方がよく分らず右往左往することもありました。

対象者の人たちは笑顔を見せるも彼らの心の中は本音が見えず気持ち分るまでずいぶん時間が掛かることもありました。

対象者の個性がある程度分るまでに時間が掛かりました。

やはり、人対人。胸の内に入り込むのは難しいことです。

しかし、自分の勉強に大変役に立つこともあり、この体験した気持ちをもいつまでも持ちつつ今後の生活に役立て行きたいと思えます。

貴重な体験をさせて頂き又、長い間諸先輩に見守って頂き、ありがとうございました。

保護司になって

福井志保



「尊いお役目があるけれど一緒にどうですか？」二年ほど前、PTA時代の先輩に言われました。「保護司」と言う存在は知ってはいるものの、え？この私が？と言う感でした。

その後、保護司の切ない事件が起こり殺伐とした雰囲気の中、その尊敬する先輩から幾度となく一度しかり考えなさいとお伝えがあり、社会の役割に立ちそして自分を見つめる良い機会となるはずだからと懇々と言われ続けました。

世のため人のために成るならばと何十年か振りの履歴書を書き審査待ちました。随分待った気がします。自身のこれまでの生き方は間違っていないか、いま目指しているゴールは正しい道なのか自問自答の毎日でした。

実際、保護司になり保護観察対象者の担当をさせて頂きだしましたら、自分のことはさておきこの方を精一杯の想いで理解し協力していきたいと思いました。

尊敬できる先輩先生に教えを被りな

から沢山学び沢山成長し今後も歩んでいきたいです。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

活動を終えて

更生保護女性会長 田中正子

南区更生保護女性会は今年で27年目を迎えます。活動としましては保護司会、BBS会、愛知県内の更生保護施設、立正園の行事に10の更生保護女性会の団体との協力で施設の入居者と共に小幡駅周辺のゴミ拾い、暮の餅つき大会への参加、クリスマス会、大掃除などの行事です。

令和6年7月には名古屋ブロック研修会が南区役所講堂で開かれ保護観察所長、南区長、県更生保護女性会連盟会長はじめ南保護司会会長そして南区を除いた15区の女性会会長、副会長が参加して開催され会員の皆様には手分けして協力していただき無事研修会を終わらせる事ができました。

こうして更生保護女性会はこれからも会員の皆様と共に活動していきたいと願っておりますので宜しくお願い致します。



い致します。

ひと・と・や・す・み

まさ子

豆腐ステーキ

材料(2人分)

木綿豆腐 一丁 たらこ 50g

ネギ(粗みじん) 1本

調味料

みりん 大さじ1(弱)

しょうゆ 大さじ1(弱)

だし汁 60cc

小麦粉 適量 サラダ油・ごま油

作り方

① 豆腐はザルに上げ、10分程おいて水切りし縦半分に切ってから1.5cm幅に切る。



② たらこは皮に包丁を入れ身を出しほぐす

③ ①の豆腐に

小麦粉をうすくまぶしフライパンにサラダ油大さじ2を熱して並べ入れ弱めの中火で両面こんがり焼き、器に取り出す。

④ ③のフライパンを洗い、ごま油大さじ1杯半を熱し粗みじんに切ったねぎを炒め調味料を加え煮立て、そこに

②のたらこを加えてサッと火を通した

ら③の豆腐にかけ出来上り。

令和6年度

受 彰 者

法務大臣表彰

宮川委久代 (伝馬)

全国保護司連盟理事長表彰

石田 牧子 (明治)

石川来民造 (笠寺)

山盛 和美 (柴田)

山田 好恵 (道徳)

中部地方更生保護委員会

委員長表彰

山田 宏 (明治)

横井 良典 (春日野)

鏡味 道子 (笠寺)

中部地方保護司連盟会長表彰

竹内 律子 (白水)

中村実知子 (笠寺)

中部地方保護司連盟会長表彰

(家族功労)

大矢紀代子 (豊田)

細江登美子 (道徳)

名古屋保護観察所長表彰

成田 由己 (明治)

名古屋保護観察所長感謝状

(家族功労)

宮川 一壽 (伝馬)

愛知県保護司会連合会長表彰

田中研一郎 (宝南)

間宮 伸恵 (宝)

青山 道乃 (桜)

鬼頭 恵助 (呼続)

為井 正雄 (笠東)

藤田 健司 (大磯)

堀口三千代 (大磯)



桜学区の紹介

伊藤 照泰

太古より人々が暮らす笠寺台地「松巨島」の北東部、櫻村・新屋敷村あたりが現在の桜学区です。

鎌倉街道や塩付街道が通り、名勝旧跡も多く、三種の神器「草薙剣」が作られた伝説が残る鳥栖八剣社では近年、ヒメボタルの生息が確認され保護活動が行われています。

櫻村の名残から桜本町・桜台と、桜の名がつく所が数多く存在し、学区の看板にもなっている鯛取通の桜並木は



鯛取通り 桜並木

昭和40年代終わり頃、市電廃止に伴う道路整備時に植えられ現在まで大切に守られてきました。毎年春には沢山の花を付ける自慢の桜並木となり、日頃の清掃活動や樹木の植替え・管理活動は地域交流の場となっています。

学区の花「サクラソウ」の花言葉の一つに「自然の美しさを失わない」とあり、郷土を大切に安心して暮らせる地域を桜学区は目指しています。

退任保護司の紹介

令和6年5月24日

久野 三月 (笠東)

令和6年11月30日

竹内 律子 (白水)

令和7年5月24日

阿部 薫仁 (道徳)

横井 良典 (春日野)

菅井三枝子 (大磯)

大変お世話になり、ありがとうございました。

新任保護司の紹介

令和6年11月25日

安井多真美 (桜)

村 哲雄 (春日野)

令和7年5月25日

近藤 晶子 (笠寺)

今後のご活躍を期待いたします。

令和7年6月26日発行

南保護区保護司会

広報情報部会

名古屋市南区前浜通3-10

南区役所区政部総務課内

電話 052 (823) 9312

FAX 052 (811) 6360